

## 市民生活

- コロナ前提の地域経済の活性化と感染防止と各種支援を。
- 新ごみ処理施設の市内建設を。  
魚沼市で1施設、南と湯沢で1施設整備の検討がスタート。
- クマ人身被害対策に赤外線カメラ搭載ドローンの利用を。
- 鳥獣被害対策計画の更新と緩衝帯の整備を。計画が更新

## 観光

- 観光振興計画の復活策定を。  
(魚沼市を発信し外貨を得るためには、市内の観光振興による活性化の必要性の共通認識を)  
⇒策定に向けスタート
- 観光プラットフォームの構築  
(観光、農業、商工、交通業者の情報発信と商品販売を一括運営する組織の立ち上げを)
- 全市展開の観光情報発信を。
- 民間観光事業所の支援
- 魚沼市の総合的観光振興を。  
・観光課、観光協会、民間観光事業者の連携の実質化
- 市営観光施設の適正な管理を。
- 地方創生事業の観光分野の課題と解決

## ICT(情報通信技術)の活用

- 未整備地区に光ケーブルの整備を。→2年前倒してR1年に実現(通信速度の速い光通信が市民生活や観光誘客に必須)
- 公文書保存のデータ化を。  
データ化は未実施(文書の積み上げで5.5kmにもなる量を保存中)

## 地域産業の強化、支援と振興

- 地域産業の振興、支援

- ・農業(高温に強いコシヒカリの品種改良の提言)
- ・商工業(商工会)の支援を
- 産業会館の整備を

## 教育・子育て

- 尾瀬環境学習の実現⇒県内他市に波及しました
- 交通安全施設維持管理
- スキー用具貸出とスキー授業の充実で雪国の郷土愛の醸成を。  
(⇒スキー場支援につながります)

## 福祉ほか

- 福祉施設の充実と新たな施設の建設を。
- 地域交通の再構築(市民の足の確保) ⇒ 再検討中
- 本町商店街に待合所の整備を。  
検討がスタート

## 魚沼ブランド

- 魚沼ブランドの推進
- 雪冷熱データセンタの誘致を。
- 「食でつながる元気なまちづくり」で経済効果を。

## 尾瀬・自然環境

- 尾瀬行きの早朝船バス便の増便(土日祝のみ運行を毎日運航に)  
(会津バスの協力を得ました。)  
(実現後、豪雨災害やコロナで利用者が激減し、早朝定期便が廃止され貸切予約運行になりました。)
- 自然環境の保護と活用を。  
(自然環境保全条例ができました)
- 自然環境保全条例の活用  
(尾瀬環境学習の推進や豊かな自然を体験するツアーなどの作成を。)
- 魚沼から行く尾瀬ルートの登山道管理(県補助事業で、尾瀬小沢平登山道の沢に架橋実現、R3年から登山道管理)

魚沼市議会議員

富永三千敏

下折立 528

Tel 025-795-2704

fax 025-795-2080

cp 090-9632-0668

✉ tominaga@yamakiya.net



## 地域課題

- コミュニティ協議会活動の活性化と地域課題の解決  
(除雪組合の結成ほか)
- 空き家対策について
- 避難所の施設備品について

## 補助事業の活用

- 国県の補助事業の活用で地域活性化を  
環境省コロナ対策補助事業の活用(新誘客ツアーの実施、登山道調査実施とマップ作成)  
国補助事業の活用(上記)  
県補助事業の活用(尾瀬で架橋)  
⇒ 上記はR2年度のみ掲載
- 魚沼市版地方創生、成長戦略を。

## 全般的課題

- 予算編成への活用に事務事業評価シートの改善を(一部改善)
- 「人口減少問題対策」、「地域資源の活用」、「将来に向けたまちづくりの推進」
- 地球温暖化対策  
(少雪による影響、尾瀬の乾燥化)

## 補助事業活用による活性化

- 国から6,430万円(建設業と地域の元気回復、光ケーブル整備、コロナ対策誘客、雪国観光圏事業ほか)  
県から4,420万円(震災復興基金活用活性化、尾瀬での架橋ほか)  
これらの合計1億円以上の国県補助の引き出しにつながりました。